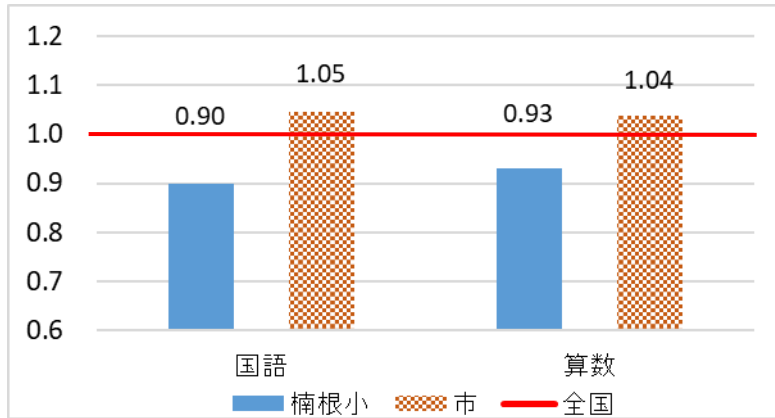


## 令和3年度 全国学力・学習状況調査について

中木田中学校区 楠根小学校

第6学年

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



○調査結果についての分析、今後の改善方策

### 【国語】

「思考力、判断力、表現力等」の「書くこと」領域の「目的や意図に応じて、理由を明確にしなが  
ら、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する」問題と「知識及び技能」の「言葉の特徴や使  
い方に関する事項」領域の「文の中における修飾と被修飾との関係を捉える」問題が全国平均を上回  
る結果であった。引き続き、語彙力の育成に向けて、家庭と連携し、読書等に親しむ取組を継続して  
いく。

### 【算数】

「変化と関係」の「速さを求める除法の式と商の意味を理解している」力を問う問題をはじめ、  
「測定」の「条件に合う時刻を求めることができる」、「図形」の「複数の図形を組み合わせた図形の  
面積について、量の保存性や量の加法性を基に捉え、比べることができる」、「数と計算」の「示され  
た除法の結果について、日常生活の場面に即して判断することができる」問題が全国平均を上回り、  
各領域において着実に定着が図られている。引き続き、授業でわからないことに対して主体的に解決  
に向けて行動し、子どもたちが自分たちで聴き合い、学び合う学習活動を大切にしていく。

### 【質問紙調査】

「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」「5年生までに受けた授業でコンピ  
ューターなどのICT機器をどの程度使用しましたか」「5年生までの受けた授業では、課題の解決に  
向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問に肯定的に回答した児童の割合が全国  
平均を上回る結果であった。これは学習指導要領に基づき、授業改善に取り組んでいる結果だと考え  
る。引き続き、「主体的・対話的で深い学び」の授業の取組を進めていく。

○学力向上の取組

### 【中学校区】

中学校区3校での研修・授業交流と共に全国学力・学習状況調査の結果の共有を行い、主体的・対  
話的で深い学びの実現に向けた授業づくりと全市的な小中一貫校への移行を見据えた義務教育9年間  
の小中一貫カリキュラムの構築に向けた取り組みを推進している。

### 【学校】

「聴き合う関係を大切に、自分の考えを深めたり広げたりする」取組をさらに進めていく。